

大阪大学 GCOE プログラム「コンフリクトの人文国際研究教育拠点」  
映像人類学ワークショップ

**映像による異文化表象の諸問題**  
—人類学者ディヴィッド・タートン教授を囲んで—

日 時：4月17日（木） 15:00～18:00

場 所：大阪大学人間科学研究科東館 303 号室

人類学者ディヴィッド・タートン教授（David Turton）は、1960年代末から、エチオピア西南部で民族集団ムルシ（Mursi）の人類学的調査を継続する一方で、紛争研究、難民研究、政治人類学などの諸分野で先導的な役割を果たしてきた。1974年から2001年にかけては、イギリスの放送局グラナダ・テレビジョンの番組「消えつつある世界（Disappearing World）」シリーズの、ムルシの人々に関する6作品のアドバイザーを務めた。「消えつつある世界」は、イギリスにおいて、多くの若者が人類学を志すきっかけをつくったと言われている。影響力のある映像というメディアを用いて異文化を表象することにまつわる諸問題を、具体的なフーテージの数々と教授自身の経験から解き明かしていく。

講師紹介：

オックスフォード大学教授。難民研究センター前所長。編著に、*War and Ethnicity: Global Connections and Local Violence* (Boydell Press, 2003)、*Ethnic Federalism: The Ethiopian Experience in Comparative Perspective* (Ohio University Press, 2006)、共著に、*Forced Migration* (Polity Press, 2007)などがある。

問い合わせ先：

大阪大学大学院人間科学研究科人類学研究室

TEL 06-6879-8085、06-6877-5111

E-mail: [globalra@hus.osaka-u.ac.jp](mailto:globalra@hus.osaka-u.ac.jp)

関連 URL: [http://gcoe.hus.osaka-u.ac.jp/index\\_japanese.html](http://gcoe.hus.osaka-u.ac.jp/index_japanese.html)